

第258回鳳雛講座 令和7年10月8日(水)

10月8日(水)に今年度5回目の鳳雛講座を行いました。講師は、白川建設株式会社代表取締役社長の白川懸士さんが務めてくださいました。建設業の仕事内容はもちろんのこと、愛すべき故郷である大館を全国に発信したいという思いや一中生への熱く温かいメッセージをお話しくださり、終始聞き入っている一中生でした。

○講話の内容

・建設業の仕事

コンクリートや鉄骨、木材等を使って建物や橋、道路などを作る仕事である。ただ一口に建設業といっても、大工、塗装、内装など50余りの専門職があり、それらを束ねて一つの物を完成させるのが総合建設業としての白川建設株式会社の仕事である。どんな産業であっても、建物や道路、施設などがないと産業は起こせない。そういった意味では、すべての産業の先駆けとして基礎となる部分を担うという大切な役割が建設業にはある。

また、災害が起こればすぐさま復旧の支援に乗り込むのが建設業者の使命であり、愛すべき故郷のために真っ先に復旧へ向かう意識をもっている。

女性職員の活躍も見られ、男女問わず活躍できる職業となっている。

・きりたんぽまつりについて…

きりたんぽまつりは、大館を広く全国に発信し、市内のきりたんぽ産業の振興を図り、大館全体の発展を目的としている。このきりたんぽまつりには、「文化の継承を ALL 大館で」というコンセプトがあり、大館に住む人々が大館のよさを再確認し、誇りを醸成する機会となっている。そして、この文化を次の世代に受け継ぐ場にもなっている。

○結びに

中学生の皆さんには、様々な角度から物事を考える訓練や、将来の選択肢を広げるためにも勉強を頑張ってもらいたい。また、社会は様々な能力をもった人たちが力を合わせる共同体であるため、どんどん挑戦し、これだけは負けないと言えるものを見つけてほしい。

○生徒の感想から

- ・建設業は最も直接的に人を支えられる職業だと思う。「世のため人のために」という言葉をこれからの職業選択に生かしていきたい。
- ・まだ仕事について深く考えたことがなかったため、「世のため人のために」という高い志が印象に残った。様々なことを経験するきっかけをつくるため、意欲的に物事に取り組む姿勢が今の自分に必要だと気付くことができた。
- ・大館に貢献しているところがとてもいい会社だと思った。将来建築系の仕事に就きたいと考えていたため、とても参考になった。



